



例会日：木曜日 12:30～13:30 創立：1951/11/15 チャーターナイト：1952/4/15 創立順位：No.68

司会 勝山 会場監督 点鐘 谷道 会長
国歌斉唱

ロータリーの目的／四つのテスト
ゲスト

NiX グループ代表 株式会社新日本コンサルタント

代表取締役社長 市森 友明 氏

会長挨拶／報告

《誕生祝》

板谷 聡 さん(10/13・67才)
岡本 一剛 さん(10/18・50才)
永田 義邦 さん(10/19・84才)

幹事報告

■女性の旅行⇒10/18 富岩水上ライン運河クルーズ
とピアットスズキチンクエのランチ
ホテルニューオータニ高岡 10時集合

委員会報告

■第二回親睦ゴルフ大会結果報告

＜ ニコニコBOX 8件 26,000円 ＞

谷道会長／市森さんようこそ。市森さんとは呉羽カントリーでお会いする機会が一番多いですね！卓話楽しみにしております。先日の第2回親睦ゴルフにご参加の皆さんご苦労さまでした。親睦委員会の皆さん設営ありがとうございました。また受付に事務局の馬淵さんにも来ていただき、ありがとうございました。

山本（毅）君／市森友明社長、高岡 RC によろこそ。市森社長には、地域開発事業だけでなく、海外の水力電力発電事業、京都大学経営管理大学院での博士号の取得など本当に驚かされる事ばかりです。本日の卓話を楽しみにしています。

岡本（欣）君／勝興寺、国宝おめでとう！そしてありがとう！瑞龍寺さんとのダブル国宝を皆で大切にし、キチンと守り、育てて高岡を今一度隆盛の高岡にしましょう！！

駒井会員／10月7日の親睦ゴルフにて優勝させていただきました。雨の中でしたが全員完走でき懇親会も

楽しく過ごさせていただきました。親睦委員会の皆様お世話ご苦労様でした。

原君／谷道さん、駒井さん、勝山さん、偶然通りで会った私を飲み連れに連れて行ってくださり有難うございます。「おい。やあ。」を強く感じられ、とても嬉しかったです。

永田君／誕生日祝いをいただきまして誠に有難うございました。

板谷君／誕生祝ありがとうございます。コロナ以後、マラソン大会から遠ざかっていましたが、今度の日曜日、久々にエントリーしました。東京レガシー・ハーフマラソンです。国立競技場スタート&ゴールの退会です。結果は次回のニコボックスで！

中野君／中途退席をお許しください。

プログラム

＜卓話＞



演題

「公共交通利用とオフィスの立地、および、企業業績の関連について」

市森 友明 氏

人口減少に対峙する持続可能な都市経営において、公共交通結節点を中心とした拠点集中型の都市形成は有効であり、そのためには公共交通の維持・活性化が不可欠である。一方で、地方都市の企業は、オフィスの郊外立地により、通勤交通時の自動車分担率が極めて高くなっている。また、郊外立地による、立地コストの低減や、従業員の通勤時間や郊外住宅取得コストなど、労使に経済的な利点もあり、拠点集中型の都市形成、および、公共交通利用と、地域企業経営とのトレードオフ関係を助長している。上記課題に対し、オフィスの駅周辺立地+公共交通利用が、地域企業経営にとって合理的

な選択となる可能性を調査するべく、全国の地域企業（政令都市未満）、都市企業（東京 23 区、大阪市）勤務者 1,550 名を対象に、公共交通利用や、オフィスの立地、および、企業業績に関するワークモチベーション、さらには地域を良くしようとする意図の地域志向的モチベーションに関するアンケートを実施し、それらの因果構造を考究した。研究の結果、地域、都市企業双方において、地域志向的モチベーションが根因となり、公共交通利用意図とワークモチベーションの両方を高めることが明らかになり、公共交通利用と企業業績が同時に良化される可能性が示された。さらには、地域企業勤務者のみにおいて、駅からオフィスまでの距離が近いほど、上述の根因である地域志向的モチベーションが高く、オフィスの駅周辺立地の有効性を示した。これらの有効性を確認するべく、実際にオフィスを郊外から富山駅周辺に移転した企業の従業員（移転群）と元々移転先の駅周辺で勤務している従業員（非移転群）を対象に、移転前後の変化を調査した。分析の結果、移転群の公共交通利用率は 30%上昇し（非移転群は変化なし）、ワークモチベーションが非移転群より相対的に向上した。これにより、先の因果構造より示されたオフィスの駅周辺への移転の企業経営への有効性が、実践的に示された。以上より、高コストとなる公共交通利用とオフィスの駅周辺立地が、低コストの郊外立地と車利用に対して、合理的な経営手段として選択できる可能性を示した。高岡は、万葉性や氷見・城端線など、地域公共交通の存続および活性化が求められている。本研究成果は自治体や交通事業車の視点ではなく、企業経営からのアプローチとして、上記課題解決への有効性を示したと考える。

参考文献

https://www.jstage.jst.go.jp/article/gbj/7/1/7_44/_article-char/ja

chromeextension://efaidnbmnnnibpcajpcgclefindmkaj/https://sgb.net/site/wpcontent/uploads/2022/10/9_ichimori.p